

科目名		授業形態	担当教員名	
精神障害評価法実習		実習	淡路 大致・濱崎 光弘	
時間数（単位数）		授業回数	年次	開講時期
60 時間（2 単位）		30 回	2 年次	前期
授業の目的・概要				
「精神障害評価法実習」では、精神障害作業療法Ⅰで学習した知識を臨床実践へつなげていくための技術習得を目指す。当事者の方に来校していただき、面接や共に作業を行う中で関わり方を学び、治療過程で必要とされる情報収集、記録、結果の報告ができることを目標とする。				
授業の到達目標				
1. 精神科領域の評価について説明できる。 2. 各精神機能障害を正しく述べるができる。 3. 対象者の状態に合わせた面接が実施できる。 4. 作業の特性と作業遂行能力を関連付けて評価できる。 5. 対象者を理解するために必要な評価を選択できる。 6. 観察・経験した事柄を客観的に記録・報告することができる。 7. 対象者の生活や思いに関心を向け関わられる。				
授業計画				
回	内容			
1	精神科領域における評価と治療①	16	検査測定②	
2	精神科領域における評価と治療②	17	模擬ケースを通した介入計画①	
3	精神科領域における評価と治療③	18	模擬ケースを通した介入計画②	
4	精神科領域における評価と治療④	19	模擬ケースを通した介入計画③	
5	各評価項目の理解①	20	模擬ケースを通した介入計画④	
6	各評価項目の理解②	21	対象者情報から介入計画①	
7	面接・観察①	22	対象者情報から介入計画②	
8	面接・観察②	23	対象者への面接①	
9	作業分析①	24	対象者への面接②	
10	作業分析②	25	対象者への検査測定①	
11	作業分析③	26	対象者への検査測定②	
12	作業分析④	27	対象者との作業活動①	
13	作業分析⑤	28	対象者との作業活動②	
14	作業分析⑥	29	情報の列挙・整理および対象者との関わりの振り返り①	
15	検査測定①	30	情報の列挙・整理および対象者との関わりの振り返り②	
成績の評価法と基準				
種別	割合	評価基準・その他備考		
定期試験	70%	到達目標の達成度で評価する。		
レポート	30%	対象者との関わりの計画及び関わりの中で得た情報の列挙や整理・グループワーク発表で評価する。		
小テスト				
平常点				
その他				
自由記載				
教科書				
書名	著者・編集者名		出版社名	
作業療法学ゴールドマスター・テキスト精神障害作業療法学 改訂2版	山口 芳文 編集		メジカルビュー社	
精神障害と作業療法 新版	山根 寛		三輪書店	
自由記載				
参考文献				
書名	著者・編集者名		出版社名	
作業療法の面接技術	香山 明美・小林 正義		三輪書店	
自由記載				
備考				
対象者来校日程に伴い、授業内容が前後することがある。 教科書を読む等の予習をしっかりと行うこと。また、グループワーク、発表には積極的に参加すること。				